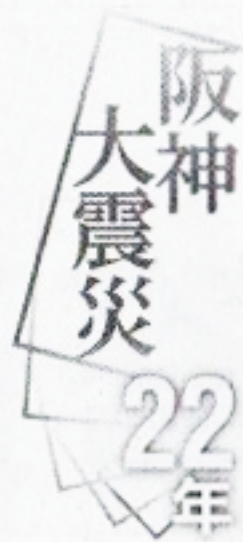


# 防災へ取り組み宣言

## 草津で追悼コンサート



阪神大震災から22年を迎えた17日、草津市役所で「1・17追悼防災コンサート」があった。子どもや市民の代表らが、地震への備えや日ごろの心がけなどを宣言し、歌を歌った。

会場になった市役所ロビーには、市民ら約250人が集まった。全員で黙禱をした後、幼稚園児や小中学生、毎月17日におにぎりを食べて防災を考える活動を続ける「防災おにぎり委員会」のメンバーらが順に、防災への取り組みなどを宣言した。市立中央幼稚園の園児たちは「慌てずに先生の

話を聞きます」「自分の頭を守ります」と声をそろえた。その後、参加者は市立草津中学校吹奏楽部の演奏にあわせて、昨年11月にできた啓発ソングを歌った。

会場には、震災の被災者も駆けつけた。神戸市で被災し、現在は子育て中の母親らでつくる「こうべ未来プロジェクト」のメンバーとして活動する林美智世さん(44)は「防災には、人と

人とのつながりが何よりも大切。神戸にも新しい人のつながりをつくっていきたい」と話した。(八百板一平)



防災のために心がけていることを宣言する子どもたち＝草津市役所